

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	取り組み状況
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切であるか	法令を遵守した適切なスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	法令で必要とされる配置数に加えて、常勤換算数で1名以上配置しています。
	3	事務所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	身体面のバリアフリーとして、スロープや手すり、多機能トイレなど設置されています。また、発達障害・自閉症スペクトラムの特性に沿った構造化のアイデアを用いて、部屋の環境や、療育内容・支援方法なども発達障害の方へのバリアフリーの配慮を行っております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	業務改善については、日頃より会議や研修などにおいて、職員で取り組んでいます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者向けにアンケートを配布し、意向や思いなどをお聞きしました。保護者の方々の思いを大切にしながら、業務改善につなげていきます。
	6	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	当法人のホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	現在は利用者と当法人との二者評価となっております。毎月、スーパーバイズをいただいている先生に来ていただき、相談、確認を繰り返しながら、療育内容の改善につなげております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	児童精神科医の門眞一郎先生による、職員研修を定期的実施しています。また、専門家によるコンサルテーションに入っただいたり、外部の研修にも参加する

			などして職員の資質向上を行っています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	日頃の療育の中での当法人独自の特性評価や行動観察、発達検査・知能検査などのフォーマルな情報、家庭や学校での様子を療育毎に保護者の方とお話させていただき、生活全般をふまえた上でご本人さんの課題や目標を設定し、計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	行動の背景を検討する際に、発達検査や知能検査などの標準化された指標を確認しております。また、行動観察する際に適宜、共通の評価シートを用い行動を分析し支援につなげております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	各職員の専門性を活かし、職員間で話し合いながら活動プログラムの立案を行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	定期的に活動の見直しを行い、目標、課題に応じて活動の変更をしております。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	家庭や学校の状況を聞きながら、それぞれに対応した課題、プログラムを設定しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	各お子さんの特性や目標に対して、個別プログラムや小集団プログラム、集団プログラム、就労準備プログラムなどそれぞれに合わせた計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	毎朝朝礼を実施し、支援内容や役割分担について確認しています。また活動前・活動中に目標確認や振り返りを通して、職員間のコミュニケーションを密に取っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	終了後には職員間で振り返りを行い、気付いた点等を話し合い、今後の支援に活かしています。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	紙媒体だけでなく、IT 機器などのツールを活用して日々の支援記録をとり、データや記録に基づいた分析をしております。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6 か月に 1 度のペースでモニタリングを実施し、計画に対する評価を行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	将来の自立や地域での生活を意識した課題や目標を設定し、必要な活動をお子さんに合わせて組み立てています。
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもに精通した最もふさわしい者が参画しているか	サービス担当者会議には、管理者および日頃からお子さんの療育に入り支援しているスタッフが参加しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	お子さんの特性や必要な支援について、基本的には保護者の方を通して情報を共有させていただいています。また、必要に応じて、電話でのご連絡や会議などを適宜行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	保護者の方よりケアについて必要な情報を確認させていただいています。必要に応じて、主治医の先生と連絡できる体制を整えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	お子さんの特性や支援についての情報の共有はもちろん、生活の母体となる環境の中での様子を確認しています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	ライフステージをつなぐ支援を大切にしています。学齢期から成人期への移行をスムーズにしていくためにも、就労準備グループのピュアチャレンジというプログラムも設定しています。また、お子さんの特性をまとめた特性シートや支援のマ

			ニユアルなども作成してお伝えしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	大阪府発達障害支援センターのアクト大阪と連携しています。また、当法人が東大阪から受託している東大阪発達障害相談支援センターがありますので、そちらとも連携し、助言や研修などを受けています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	農園を始めたので収穫祭を開いたり、地域の方にもご参加いただける書道教室を開催し、交流を図っていきます。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	自立支援協議会やケア連絡会など、地域の様々な協議会に参画しています。また、国や大阪府の強度行動障害支援者養成研修に関する委員会等にも参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	ご家庭での様子や課題の確認などを療育毎にお聞きし、デイでの様子や支援について報告・相談の時間を設定しております。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	保護者の方にも参加していただける研修を実施しております。また、課題や困り事に対してご家庭での支援や工夫なども一緒に考えております。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	利用開始時に説明し、疑問などあればその都度丁寧な対応を心がけています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	日頃から保護者と報告・相談の時間を設定しており、その中で、助言や支援等行っています。また、必要に応じて、当法人の東大阪市委託の発達障害相談センターの機能を用いて相談の対応をしております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会を開催する等により、保護者同士の連携を支	保護者の方が集まり、情報交換や日頃の悩みや思いを出せる場所としてピュアカフェを1ヵ月に1回のペースで開催し

		援しているか	ております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情があれば、その都度迅速かつ適切な対応を心がけています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	不定期ですが、会報（ピュア通信）を発行し、またホームページやブログ、SNSなどで、活動内容や具体的な支援についてなどを広く周知しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	個人情報は鍵付きキャビネットに保管しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	それぞれのお子さんの特性や認知レベルをアセスメントする中で、理解コミュニケーション、表出コミュニケーションの支援を行っており、PECS（絵カード交換式コミュニケーション）やタブレット端末、筆談などの表出コミュニケーションツール、構造化などの工夫を用いています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか	農園で収穫祭や、地域の方主催の食育イベント、書道教室などを開催し、地域の方々にご参加いただけるよう案内しております。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	各種マニュアルやBCPなどを策定し、委員会で日々の対策を検討しています。
非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	定期的に避難訓練を実施しています。一人ひとりに合わせた工夫を用いています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	虐待防止研修に代表の職員が参加し、他の職員にも伝達研修をしております。また、法人内に虐待防止委員会を設置しており、定期的に話し合い、全体に周知す

		ることで虐待防止に努めています。
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	出来る限り身体拘束を行わずに支援や工夫で解決していけないかをまず管理職も交えて会議をする中で考えております。その上で、ご本人さんにとってやむを得ない状況の場合は、理由、期間などを保護者に説明するとともに、個別支援計画の中に記載します。さらに、その対応が必要かどうか、代替的な支援がないかを適宜考えております。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	アレルギーの有無について聞き取りを行い、接触が起こらないように気をつけています。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハット事例が起こった場合、記録し共有する中で、改善が必要な点などを話しあっております。